

Media : Jiji News

Date : 25 April 2024

マレーシア味の素、包装リサイクルを強化＝推進団体に加盟一日系初の正会員 (2024/04/24-18:50)



【クアラルンプール時事】マレーシア味の素は23日、リサイクルを推進する企業団体マレーシアン・リサイクリング・アライアンス（MAREEA）に加盟したと発表した。同団体に日系企業が正会員として加入するのは初めて。

味の素の本社は、2030年までにプラスチック廃棄物をゼロにすることを目指している。マレーシア味の素でも、リサイクルしやすい単一素材の包装・容器の採用を推進。26年までに包装を100%リサイクル可能な素材に切り替えることを目指す。

MAREEAは、21年に設立された団体で、製品の生産者が包装・容器のリサイクルに責任を負う「拡大生産者責任（EPR）」の考え方にに基づき、プラスチックなど包装材の回収・再利用を推進。政策提言も行っている。ホームページによると現在、コカ・コーラ・マレーシアやネスレ・マレーシアなど外資系大手を含む消費財・包装材企業12社が正会員として参加。日系では東洋インキグループのトーヨーケムスペシャリティケミカルが、正会員に次ぐ準会員として2022年から加盟している。

マレーシア味の素は、EPRの推進に向け、政策立案や実施でMAREEAに協力する方針。同社は特に、包装材の回収体制の整備を重要と位置付け、促進したい考えだ。

大澤理一郎社長は「MAREEAへの加盟により、責任ある包装材管理への取り組みと持続可能な包装材採用を強化したい」と述べた。（了）



発表会見でスピーチを行う大澤社長＝23日、マレーシア・ヌグリスンピラン州（マレーシア味の素提供）